

クロム活用シート

4年 外国語活動

1. 単元名『Let's Try!2 Unit4 「What time is it?」』
2. 本時の評価規準 外国と日本では時刻や生活が違うことに気づき、時間や日課の言い方に慣れ親しむ。【知識及び技能】
3. 指導計画

	学習活動	ICT活用場面
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容を振り返り、言語表現・言葉の確認をする。 ・世界のライブ映像（ロンドン）を視聴し、課題をつかむ。 <p>外国と今の日本（能美市）の時刻を比べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国によって時刻が異なる理由を知る。 	<p>A I</p> <p>世界のライブカメラに接続し、リアルタイムで世界各国の映像を視聴させる。</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・グループによるクイズ形式で世界の都市は何時か仲間と相談しながら時刻を予想し、答え合わせをする。また、その時刻にその国の子どもたちは何をしているか考え、様々な生活をしていることに気付く。（シドニー・サンフランシスコ・NY） <p>C:What time is it? C:It' s ○ (a.m./p.m.) in (国名) (・個人で世界の都市や時刻・生活の様子を予想する。)</p>	<p>C I</p> <p>電子黒板に提示された友達の考えも参考に自分の考えをもち、オクリンクに書く。</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の今の時刻を知り、本時の学習をまとめる。 <p>世界の国によって時刻が違い、過ごし方も違う</p>	

4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

Ⅲ	学びに向かう力・人間性等	Ⅰ	問題解決・探究における情報活用の態度
		①	多角的に情報を検討しようとする態度
		b	新たな視点を入れて検討する。

A I 教師による教材の提示 I

使用するアプリ等 「Google Chrome」

	活用の流れ
①	世界のライブカメラに接続し、リアルタイムで世界各国の映像を実際に視聴する。
②	映像をたよりに世界の国や地域の時刻を考え、国によって時刻が異なることを想像しやすくする。



C I 発表

使用するアプリ等 「オクリンク」「ウインバード」

	活用の流れ
①	映像や各国の時刻をもとに、世界都市（サンフランシスコ・NY）の時刻を考える。
②	友達の意見を参考に考えをもち、オクリンクに書く。



活用の効果

- ・世界のライブ映像を用いることで、児童の興味・関心を高め、必要性のある課題を持たせることができた。
- ・色分けしたオクリンク（午前・午後）を個人に送り、電子黒板提示で全体共有していたら授業中の集中度も上がり、それぞれの児童の考えも反映でき、個別最適な学習につなげるのに効果的だった。